学校番号	T3010

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語一般	2	第３学年	プレップイングリッシュ ４訂版 高校英語の基礎づくり（旺文社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語一般」は英語を使って、積極的にコミュニケーションを取ったり、自分の意見を表現したりする力をつけるための基礎づくりの授業です。

この科目は、「英語コミュニケーションⅠ」をベースに、必要最低限の文法事項を多様な形式の問題練習を通して体系的に学び、発展へとつながる基礎力を養います。また検定問題を用いた問題演習も行います。そこで①教科書問題の予習・復習、②単語・熟語の意味調べと暗記、③間違えた問題や難しかった問題の復習、などを行うことが不可欠です。

毎回の授業では、積極的に問題練習に取り組み、ミスを恐れず積極的に解答を発表することが要求されます。熱意をもって努力を続け、英語を学ぶ姿勢が必要です。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年／第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文を聞き取り、内容を理解することができる。 趣味など身近な話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、聞き取り、概要を理解することができる。	基本的な語句や表現から構成される英文を読み、内容を理解することができる。挿絵や写真などを参考に、物語や身近な話題に関する短い英文を概ね理解することができる。	基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	前もって準備したうえで、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを簡単に紹介したり、実物を示しながら簡単な説明をすることができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や基礎的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題、特に学校生活や勤務先の話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	１．アルファベットを書いてみよう・覚えよう ２．辞書を引いてみよう ３．身近な英語 ４．日本語と英語のちがい 語順 冠詞と名詞－単数形と複数形 １．指示代名詞 ２．人称代名詞と活用 形容詞と副詞	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課のイラスト問題、練習問題などの実戦問題に対応できている。 c：さまざまな話題を聞き取っている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a：各課の解説を読み、概略を理解している。 b：内容をおおむね理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、読解をすすめようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a：各課のターゲットとなる文法事項などを用いてリピート発話できる。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用いておおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などで自分の意見を含め応答できる。	授業中試験 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文を活用した発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ問題の解答を導き出すことができる。 b：各課の問題を理解し、応用問題に対応できる。 c：各課の応答表現や応用問題の解答の精度をあげて導き出す試みを行うことができる。	授業中試験 （ライティング）
	中間考査			
	be 動詞の用法 疑問文・否定文 be 動詞過去形	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：前置詞などを含めフレーズで聞き取る。 c：文法力などを駆使し、総合的に聞き取りを行っている。	授業中試験 （リスニング）

	各種の前置詞の用法 存在を示す倒置構文の用法 一般動詞現在（3人称単数を除く）の肯定文・疑問文・否定文 一般動詞 3 人称単数現在の肯定文、疑問文、否定文 一般動詞過去形の肯定文、疑問文、否定文	読むこと	a：各課の解説を読み、概略を理解している。 b：各課、各内容をおおむね理解し、設問に答える。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法などをふまえて精読し、内容理解を進めることができる。	定期考査 （リーディグ）
		話すこと （やり取り）	a：相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用い、おおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用い、自分の意見を含め、応答できる。	授業中試験 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文を活用した発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a：各課のターゲットとなる文法事項などを用いて、考えや気持ちを書いて伝えようとする。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを用いて考えや気持ちを基本的な語を用いて書く技能を身につけている。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを用いて考えや気持ちを伝わるよう書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期		聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：さまざまな動詞・助動詞、文の形を聞き取ることができる。 c：文法的な力などを駆使し、総合力で聞き取りを行うことで内容理解の精度を高めようとしている。	授業中試験 （リスニング）
	一般動詞の用法のまとめ 疑問詞を用いた疑問文 Be 動詞の復習と現在・過去進行形 いろいろな助動詞 助動詞の疑問文否定文 比較級と最上級	読むこと	a：長文を読み、概略を理解している。 b：内容をおおむね理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、読解をすすめようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a：相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などでおおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などで自分の意見を含め応答する。	授業中試験 （インタビュー）
		話すこと （発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文を活用した発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ問題の解答を導き出す。 b：各課の問題・解答を理解し、応用問題に対応する。 c：各課の応答表現や応用問題の解答を精度をあげて導き出す試みを行っている。	定期考査 （ライティング） レポート
	中間考査			

	原級比較級 様々な比較表現 受動態と能動態 関係代名詞の諸相と原理 ３用法と慣用表現 現在・過去分詞の修飾用法	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課の文法事項をおおむね理解し、リスニングに結びつけて聞き取り内容の把握に役立てている。 c：各課の文法事項を理解し、リスニングに十分結びつけて内容を理解している。	授業中試験（リスニング）
		読むこと	a：各課の文法事項を含む文を読み、内容を理解している。 b：各課の文法事項を理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、文意を意識し精読をすすめることができる。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a：各課の文法事項などを含んだ文のリピート発話ができる。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文を一部使用し、おおよその応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文に自分の意見を含めて応答しようとしている。	授業中試験（スピーキング）
		話すこと（発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文を活用した発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	授業中試験（スピーキング）
		書くこと	a：関係詞や比較など各課の文法事項を理解し、これらを用いて書き表そうとする姿勢を示している b：関係詞や比較など各課の文法事項を用いて、内容について自分の知ったことや感想を基本的な文法事項を用いて書く技能を身につけている。 c：関係詞や比較など各課の文法事項を用いて、自分の意見や感想を添えて書き表そうとしている。	定期考査（ライティング） レポート
	期末考査			
３学期	現在完了形の意味・原理 動名詞と不定詞	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：現在完了形や動名詞など各課の文法事項をおおむね理解し、リスニングに結びつけて聞き取り内容の把握に役立てている。 c：現在完了形や動名詞など各課で理解した文法事項などを駆使し、総合力で聞き取りを行っている。	授業中試験（リスニング）
		読むこと	a：現在完了形や動名詞など各課の文法事項をおおむね理解し、文意を捉える技能を身に付けている。 b：現在完了形や動名詞など各課の文法事項を理解し、設問の解答を導き出すよう読解できる。 c：現在完了形や動名詞など各課の文法事項などをふまえ、詳細に文意を理解することができる。	定期考査（リーディング）

		話すこと （やり取り）	a: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課のターゲットとなる文法事項などを用い、おおよその応答を試みている。 b: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課の文法事項を用い、応答している。 c: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課の文法事項を用いて自分の意見などを伝えようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文を活用した発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	授業中試験 （スピーキング）
		書くこと	a: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課の文法事項を用い、書いて伝えようとしている。 b: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課の文法事項を用い、書いて伝える技能を身につけている。 c: 現在完了形や動名詞・不定詞など各課の文法事項を用い、自分の感想や意見を表現し、筋道立てて書こうとしている。	定期考査 （ライティング） レポート
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度